よい子 つよい子 できる子

妙高市立新井小学校　学校たより６月号　　令和８年６月２６日

自ら考え 行動できる子③

校　長　　青木　弘明

天才建築家アントニ・ガウディが設計し、140 年以上にわたって建設が続けられてきた世界遺産「サグラダ・ファミリア」のメインタワー「イエスの塔」が完成しました。ガウディの命日６月 10 日に、塔の完成とガウディ没後 100 年を記念するミサとセレモニーが執り行われ NHK が生中継していました。その番組を見ていると、塔の内部に日本人彫刻家・外尾悦郎（そとお・えつろう）氏が手がけた色鮮やかなタイルのグラデーションが広がり、幻想的な空間が現れました。

外尾氏のことは、昨年度の卒業式の式辞で今の中１の皆さんに話をしました。（以下式辞文）

『　外尾氏は、故郷の福岡から単身バルセロナに渡り、４７年もの間ガウディの設計図を基に建築に携わっています。その外尾氏が「ふるさとを強くもっている人は、いくらでも遠くに行ける」と言っています。



卒業生の皆さんには夢がありますか。描いている人もいれば、これから見つける人もいると思います。いづれにしても、夢の実現には外尾氏のような、ぶれない気持ちと努力が必要です。この新井小学校での経験がみなさんのふるさとです。ふるさとを強くもって、地元新井・妙高市で頑張る人もいるでしょう。ふるさとを強くもって、県内・全国更には海外へと羽ばたく人もいるでしょう。・・・』

「未来に向かって自ら考え 行動できる 妙高っ子」が妙高市総合教育基本計画の目指す子どもの姿です。先月の学校だよりでは、運動会での６年生の姿を紹介しました。先日行われた、学校運営協議会では、委員の皆様に入っていただき、各学年の生活科・総合的な学習の時間の年間計画を提示し、子どもが自ら考え 行動する内容やそのために出会うであろう「ひと・もの・こと」について議論しました。

また、学習においては、職員全員で「イエナプラン教育の理念」を共有し、学年毎に「子どもが自ら考え 学習する」授業をどの単元のどのタイミングで行うのかを検討しました。

７月２日（木）・３日（金）は東京方面の６年生修学旅行が実施予定です。自ら考え 行動する姿、ふるさと妙高を離れ、大都会東京を探訪する中で、ふるさとのよさも再確認できるのではないかと期待しています。

わかたけ運動会

5月27日（水）、晴天の下、「新井小学校 わかたけ運動会」を開催しました。子どもたちはこれまでの体育の学習や応援練習の成果を発揮し、一人一人が自分のめあてに向かって全力で取り組みました。

徒競走や全員リレーでは、最後まであきらめずに走り抜く姿が見られました。また、玉入れや綱引きなどの団体競技では、仲間と力を合わせながら勝利を目指して頑張る姿が印象的でした。応援席からは友達を励ます大きな声援や拍手が響き、競技に参加する子どもたちの力となっていました。

特に6年生は、競技だけでなく、応援や係活動など様々な場面で学校全体を支えました。下学年の手本となり、責任をもって行動する姿からは、最高学年としての頼もしさが感じられました。

運動会を通して、子どもたちは努力することの大切さや仲間と協力することの喜びを学びました。保護者・地域の皆様には、温かいご声援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

第1回学校運営協議会を開催しました

6月9日（火）、第1回学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会は、保護者や地域の皆様、学校関係者が委員となり、学校運営や子どもたちの学びについて話し合い、地域と学校が力を合わせてよりよい教育活動を進めていくための組織です。

当日は、委員の皆様に5時間目の授業を参観していただき、子どもたちが意欲的に学習に取り組む様子をご覧いただきました。その後の協議では、学校経営方針や年間計画について説明し、委員の皆様から貴重なご意見やご助言をいただきました。

また、生活科や総合的な学習の時間については、低・中・高学年ごとのグループに分かれて協議を行いました。各学年の取組や今後の活動計画を紹介し、地域の人材や素材の活用について活発な意見交換が行われました。新井小学校では、これからも学校・家庭・地域が連携しながら、子どもたちの豊かな学びと健やかな成長を支えてまいります。

生活指導の取組～「自分も相手も大事にする子」を目指して～

生活指導では、『自分も相手も大事にする子』を目指して、たて割り班活動など、年間を通して友達と協力したり、子どもたちが主体的に企画・運営したりして、互いのよさを伝え合う活動を行います。また、あいさつ運動にも取り組んでいきます。

「いじめ見逃しゼロ週間」の取組

6月16日（火）からいじめ見逃しゼロ週間（イエローリボン運動）として下記のことに取り組みました。

○ 毎朝、学級で**ちかいの言葉**を宣言しました。

○ いじめのない明るいクラスや学校にするために、クラス全体で取り組みたいことを話し合い、**キャッチフレーズや標語**などにまとめました。最終日の23日（火）には、よりよい人間関係つくりを目指し、縦割り班で**「なかよしラリー」**を行いました。そこでは、上級生が下級生を励ましたり、下級生が上級生を応援したりする姿があちらこちらで見られ、どのチームも協力して活動することができました。最後には、各ブースで集めたキーワードをつなぎ合わせ、「チームワークばっちり!」という合言葉をみんなで元気よく発表しました。楽しみながら交流を深める活動を通して、相手を思いやる気持ちや協力することの大切さを学ぶ貴重な機会となりました。

